

令和3年度 第2学年 総合的な学習の時間

* Guest Teacher から職業について学ぶ *

理容師と美容師の違いは
4階廊下の掲示板を
見てください

2021.9.13
BAR BER オガタ
小形 良子 san

中央理容専門学校で学び、理容師の資格を取得。その後5年間の修業を経て、ご実家の理容室に戻り、ご結婚後はご主人のご両親が開いたBAR BER オガタで働いています。

理容師になろうと思ったきっかけや理容師になるために必要な資格、1日のお仕事の流れや魅力、やりがいや心掛けていることなど、たくさんのお話をしてくださいました。

お客さまの要望に常に応えるために、先輩や同僚と協力して技術を高め合っていること、お客さまの髪型や身嗜みを整えるだけの仕事に思われがちですが、コミュニケーションをとることで、お客さまの気持ちに寄り添い、人生の節目を感じられるのが、この仕事のやりがいに繋がっているとのこと。



まだ将来何になりたいなどの目標や夢がない人もいるかと思えます。インターネットや図書館を利用してどんな職業があるかを調べてみてください。

今日の前にあるやるべきことに取り組んでください。私もこれからも変わらず、毎日勉強を重ね、多くの方に喜んでもらい、信頼される理容師であり続けたいと思っています。お互い頑張りましょう。

2021.9.14
元保険会社勤務 本校職員
スクールサポートスタッフ
飯野 雅人 san

いつも
私たちのために
ありがとうございます
ございます

飯野さんは本校のスクールサポートスタッフとして、生徒の皆さんを支えています。定年退職されるまでは、保険会社に勤務されていました。

お客さまの人生の節目に立ち会い、様々なことにチャレンジできるようにサポートする保険会社の在り方についてお話をしてくれました。私たちの暮らしには、保険という制度は欠かせないもので保険の意義や、リスクを想定して行動することの重要性もお聞きしました。

飯野さんは長きに渡りたくさんのお仕事をし、多くの方と接していく中で、日頃から些細なことでも『感謝の気持ち』を忘れず『約束を守る』ことの大切さを知り、今の私たちにとっても大切なことで、忘れてはいけないことだということを教えてくださいました。



2021.9.24
登山家
三戸呂 拓也 san

2年連続
ありがとう
ございました
怪我が早くよく
なりますように

1～18歳まで暮らした長野は自然豊かな土地でした。高校大学の7年間は山岳部で、大学4年間のうち3分の1は山の中にいました。

大学卒業後、教員として働いていましたが、山登りの世界に戻って『やりきりたい』という思いが膨らみ、教員という職業から一旦離れる決意をしました。

登山家には資格や免許は不要で、名乗れば誰にでもなれる職業です。山岳ユーティリティとして様々な仕事をしてきました。山登りをするお客さんのガイドや登山学校の教員、スキーのインストラクターや映画やテレビ制作のアドバイザーやサポートなど。

周りの人より秀でたものはないですが、山のことだけを思い、毎日努力を重ねてきました。その姿を見てくれていた人が必ずいて、新たな仕事や出会いにつなげてくれたことに感謝しています。皆さんの周りにも必ず見てくれている人がいます。

一生懸命やってきことが認められ、それを生かすことができたことは嬉しかったです。多くの人との出会い、広い世界を見ることができました。そしてこれからも、新たな挑戦を続けていきたいと思っています。その経験こそが仕事に繋がっているので…。

今、将来何になりたいか、やりたいかが決まっている人。時間を大切に日々チャレンジし続けてください。結果は出なくてもそこまで努力したことは自分の人生に必ず還元されます。

今、将来何になりたいか決まってない人。勉強や部活動などチャレンジすることが目の前にあることは幸せなことです。全てが将来の役に立ちます。人生の選択肢を増やし、知識を身に付けることで、みなさんの人生を豊かにしてくれます。

コロナ禍で、中学校生活の限られた時間が削られています。でもその経験は、大人になりもっと辛い思いをした時に支えになります。踏ん張って前へ進む力となります。楽しいことも辛いことも生きているからこそわかること。人は一人では生きてはいけません。支えてくれる人が必ずいます。だからこそ、私は『あいさつ』と『お礼』を言うことを常に大事にしています。

あなたは3名の
人生の大先輩からお話を聞き
何を感じ何を学びましたか？
職業体験に行けなかったのは
とっても残念だったけど
体験に勝る経験が
できたのではないのでしょうか…



三戸呂拓也さんの先輩
世界的な冒険家 植村直己さんの言葉

君たちに僕の考えを話そう
僕らが子どもの頃に、目に映る世界は新鮮で
すべてが新しかった
やりたいことは何でもできた。
ところが年をとってくると疲れてくる
人々はあきらめ、みんな落ち着いてしまう
世界の美しさを見ようとしなくなってしまう
大部分の人は、夢を失っていくんだよ
でも僕はいつまでも子ども心を失わずに
この世を生きようと思う
不思議なもの、すべての美しいもの
を見るためにも…
いいかい、君たちはやろうと思えば何でもできる
僕と別れた後も
そのことを思い出してほしい
やろうと思えばなんでもできるんだ

植村直己